



第2660地区



WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

創立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 大阪市中央区西心斎橋 1-7-3(〒542-0086) 北炭屋町ビル
Tel. (06)6244-1008 Fax. (06)6244-1010

Web: <http://sembarotary.club/> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp

例会 毎週月曜日・12時30分

ホテル日航大阪 Tel. (06)6244-1111

会長: 澤田 宗久 幹事: 岡本 茂 会報広報委員長: 日比 敬史

四つのテスト/言行はこれに照してから

I. 真実かどうか II. みんなに公平か

III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1234回 例会 2016年 (平成28年) 3月28日

(水と衛生月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 藤野 英男 副SAA)

- ロ-タリ-ソング 「それでこそロータリー」
- 会長の時間 ◎ 幹事報告 ◎ 委員会報告 ◎ ニコニコ箱報告 ◎ 出席報告
- 職業奉仕卓話 武田 實 会員・宮原 彰 会員
- 次年度理事会 6階「橋の間」 13:40~14:40

前回 (3月14日) 例会記録

◇プログレス 藤野 英男 副SAA

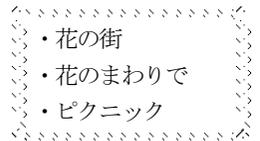
1. 来客紹介 北野 克己 親睦委員

ゲスト: 3名 地区外: 0名 地区内: 6名 合計: 9名

ゲスト: 大阪府赤十字血液センター献血推進一部推進課 池田 超 様

来日学生 ジャシュア シェクター 君

体験例会: セントレジスホテル大阪 営業部長 山下 誠 様



2. 会長の時間 澤田 宗久 会長



昨日、大阪府立国際会議場において、講演がありました。

内容は、東南海地震に備える「語り継ぐ津波の脅威」～東日本大震災から学ぶもの～と題し、関西大学教授・河田憲明(のりあき)先生による『大阪に津波が来たら!?』並びに、読売テレビの辛坊アナウンサーによる、パネルディスカッションが行われました。

この事業はIM7組の大阪御堂筋本町RCが主催で行われました。

船場RCの会員の皆様も多く参加して頂きありがとうございました。私はジャシュア君と一緒に参加しました。社会奉仕委員長の沖会員は、受付として手伝って頂き、又、清水会員がお世話されていて船場RCがサポートしております『NPO法人遠野山里暮らしネットワーク』のニットの作品が展示販売していました。

結論から申し上げますと、南海トラフ地震は必ず来るから備えておきなさい!とのことです。津波は東北では20分後、東海では5分後、南海トラフ地震では、2時間以内に大阪に5mの津波が来て、大阪城の近く上町台地まで津波が来るので

水浸しとなりプレートが動くといわれ、14.5mの高さの津波が押し寄せて来るそうです。梅田の地下街・地下鉄に居る人々は早く屋外に出てビルの上段か高台に逃げてください、とのことでした。

自分の命は自分で守る、命あってこそ、であるということです。皆様、備えあれば憂いなしです！

3. 幹事報告 岡本 茂 幹事

①本日例会終了後、3月度理事会が開催されます。理事は、すみやかにご参集ください。

②大阪心齋橋RCと当クラブとの合同情報集会は、今晚、開催されます。ご出席の方は、6時、日航ホテル大阪です。よろしくお祈りします。

③佐伯ガバナー補佐公式訪問の新旧合同クラブ協議会が4月18日(月)の例会終了後、開催されます。前回同様に、各委員長は全員出席で臨みたいと思っておりますが、万一、欠席の際は、代理を立てる必要がありますので、お早めに幹事までご連絡ください。

4. 委員会報告

◎社会奉仕委員会 沖 真一郎 委員長

本日、赤十字血液センターの推進一係長の池田超様が献血協力の依頼に来られています。

3月、4月は例年献血が少なく、輸血に不安な日々が続くそうです。昨年、当クラブから12名の献血協力の実績があります。本年も3月20日から4月10日までIM7組協同で献血キャンペーンを行っています。ぜひ、この機会に社員・従業員の方、ご家族の皆様にご協力をお願いして頂きますよう、宜しくお願い致します。

5. ニュニコ報告 高階 貞男 親睦委員

大阪東 RC 藤田国広様・・・震災、津波から5年経ちました。被災者様の一日を早に提供をお願いします。

小島 会員・・・本日午後6時から当ホテル4階孔雀にて心齋橋ロータリークラブとの合同情報集会です。よろしくお祈りします。

澤田 会員・・・昨日の東南海地震に備える：津波の災害に対して多くの船場 RC の会員が出席していただきありがとうございます。ございました。

塩尻 会員・・・おかげ様で確定申告業務も無事終了致しました。

小山 会員・・・北海道から無事帰阪。

斧原、長沼、清水、松谷、高階、沖、藤野、岩崎、片岡、斎藤、岡本(真)、大嶋、岡本(茂)、林、俣野、各会員・・・大相撲春場所(大阪場所)開幕 琴奨菊(日本出身)綱取りへ白星発進

6. 出席報告 藤野 英男 副SAA

会員総数 39名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 28名 出席率 74%

第1230回(2月22日) 修正出席率 97%

7. フィリピン帰国報告 澤田 宗久 会員

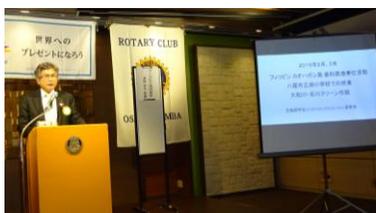
◎ジャンシュアと愉快的仲間たち

◎2016年2月3日フィリピン・カオハガン島奉仕活動

◎八尾市立竹瀬小学校での授業

◎大和川・石川クリーン作戦

3月14日



2月10(水)から15日(月)までフィリピン共和国・カオハガン島に於いて歯科医療奉仕活動に行きまして。

今回のミッションは、アメリカニューヨーク州・スーパースタウンから来日した大阪船場 RC の交換留学生のジャンシュア・シェクタ君がボランティアとして参加しました。歯科医師6名・歯科技工士3名・歯科衛生士4名・ボランティア4名 総勢17名のチームで活動を行いました。

2月チームは毎回技工士が同行しているので事前にデンチャー(入れ歯)の予約の患者様が列をなして待っていました。毎日天候に恵まれ、他の島々からも船に乗って、毎日多くの患者様が治療に来ていました。入れ歯を希望する患者様がとても喜んで帰って行きました。

ジャシュア君はフィリピンもボランティア活動も初めての経験で、最初は少し戸惑っていましたが、段々と慣れてメンバーと一緒に活動をエンジョイしていました。彼の仕事は、主にドクターのアシスタントとして、患者様の口元をライトで照らしたり、治療器具を洗ったり、荷物運び、掃除など一生懸命働いていました。

日本から持って行った、歯ブラシ・タオル・鉛筆等を現地の小学校にドネーションをしたり、学校検診では、衛生士さんが生徒達に口腔衛生指導を行っていましたが、彼はそのアシスタントとして、英語を生かして歯磨き指導を一緒に手伝ったり小学校の先生方とのミーティングにも参加して、生徒達のこれからの歯の健康についてのディスカッションの通訳もしてくれました。

最終日は雨模様でしたが、恒例の島民大運動会を行い、ジャシュア君も企画から率先して参加し、リレー・玉入れ・綱引きなど、子ども達と一緒に楽しくミッションを終えることができました。

帰国後24日(水)に八尾市立竹淵小学校での授業に行き、そこではジャシュア君に初めてボランティアに参加した体験談を発表してもらいました。彼は、生徒達に約20分間、活動中の日記と感想文を日本語で子ども達に分りやすく発表していました。授業の後、クラス全員と一緒に美味しい給食を頂きました。

3月6日(日)朝10時から11時まで、大和川・石川クリーン作戦がありました。沖社会奉仕委員長と私とジャシュア君が参加して2トラックいっぱいのゴミを拾い、清掃活動を行いその日は心地よい汗をかきました。

フィリピンでのボランティア活動後の彼の感想文には、人を助け奉仕する喜びを体験できた、と書かれてありました。

これからの未来ある若者にこのような体験を共有できたことは素晴らしい事であり、彼の人生にとっても有意義な活動になったと思います。



【感想文】

フィリピンに行くと、やっぱりいっぱい勉強になった。その上、見たことないこと見て、食べたことない食べ物を食べて、新しい経験したことは本当に幸せだ。何よりも人を助けることができたので、心から感謝している。この経験のおかげで、短い間でもすごく成長できた。将来でも、フィリピンに学んだことをずっと覚えていと思う。

フィリピンに到着した時に、初めての思い出は「暑いな」と思った。今、大阪は冬だけど、フィリピンではいつでも夏だ。飛行機を降りてすぐに文化の違いをいっぱい感じた。日本に比べると大混乱だった。たくさんの人の声がうるさくて、列はばらばらになってしまう。アメリカ人として、それはそんなに悪くないけど、日本に住んでいるから、ちょっとびっくりした。「和」という考え方は全くない。

空港から出ると、みんなで集まって、車で船に乗るところに行った。途中で窓からセブの店や人とかずっと見ていった。すぐに夢中になってしまった。日本に来るときにしょだった。文化の違いがすごく面白いと思ったので、ずっと眺めていた。到着すると、カオハガンという島まで船で行った。あそこのカオハガン島で Japan Dental Mission が Volunteer 活動をしている。

カオハガン島というのは20分くらいで全部歩くことができるほど小さい島だ。あそこに住んでいる人々の生活は、日本とアメリカと全く違う。貧しくて、シンプルな生活をしている。やっぱりアメリカ人としてそういう生活はありえないけど、実はちょっと気に入った。社会のストレスがなくなるかもしれない。そういう状態でもいつも笑顔ばかり見たから、そんなに辛くないと思う。人間はなんでも慣れるから。

次の日、仕事が始まった。僕は歯医者じゃないので、できるだけ荷物とか歯医者の器具を洗うこととか、患者の口を照らすこととかして働いていた。ずっと立っていたからすごく疲れた。だけど山登りといっしょだ。やるときにしんどいけど、あと気持ち持が良くなる。もちろん、人を助けると、こういうことがある。何も言わなくても、患者たちの笑顔で感謝を感じられる。国が違うけど心が同じである。

特にいい思い出は、島民の子供たちといっしょに遊んで、運動会をしたことだ。久しぶりに全力で頑張った。それもとても楽しかった。言葉が解らずに日本とフィリピンの心がつながった。

カオハガン島にある小学校の生徒達に歯ブラシとタオルを Donation した。あのときに「ひとを助けたい」ということに気がついた。ぜひこれからもできるだけ Volunteer したい。

僕はアメリカ人だけ外国に行ってみると、日本人の目でフィリピンを見ていることが不思議な気持ちだった。大阪に帰ったときは「ただいま」と思った。でもこの世界で大事なことは国ではないと思う。何よりも「愛」を大事にすると、どこでも人が喜ぶ。だから、この経験のおかげで、アメリカ人も日本人ではなくて、世界人になった。

【フィリピンで書いた日記】

1日目

今日は初めてだった。まず澤田先生と一緒に関西国際空港に行った。みんなが集まって飛行機に乗った。気持ちがちょっとおかしかった。「また飛行機に乗って外国に行くのか？」と考えた。もちろん文化交流が好きなので、楽しみにしていた。

フライトはしんどかったけど、やっとフィリピンに到着した。初めての思い出は雰囲気が日本と全く違った。バラバラな感じがして、整理もない。そのあと車で船に乗るところまで行った。車の窓からフィリピンの人々を見るとすぐに夢中になってしまった。アメリカと日本の生活ばかり知っているの、ちょっとショックだった。新しい文化を見るので素晴らしいと思う。

あのときの感想はフィリピン人は日本人より楽な生活をしている。やっぱり日本がお金を持って安心できるけど、こういうシンプルな生活が意外に気に入っている。

2日目

今日から仕事が始まった。朝起きると朝ごはんを食べて仕事する場所に行った。島を歩いて、また人々の生活を見ていた。「面白いな」と思った。特にカオハガン島の人に生活は、たぶんほかのフィリピン人より、日本とまた違う。こういう何もなくて貧しいところはテレビを見るけど、実際に見ると心を動かす。今日は小学校へ歯ブラシとタオルを donation した。感動した。特に日本語から英語に訳することは楽しかった。それで海に入ることもすごい経験だった。今日は「人を助けたい」ことに気がついた。食事がおいしくて、メンバーと面白い話のできたから、すごくいい経験だ。これからも頑張る。

3日目(大阪弁で)

今日はいろんなことに気づいた。一つめはちゃんと歯磨きしなアカン。これがくせになるとアメリカに帰ってもキレイ付きの心がまだ残っている。それで、人を助けたら、しんどくてもあと気持ちが良くなる。自分の幸せじゃなくて、みんなの幸せを大事にするべきや。実は、外国にいるから日本もなつかしくなった。たとえば、お風呂にはんま行きたい。島民と喋ったら「日本から来たで」と言いたい。特にええ思い出はトッパルという島民と誕生日の歌を歌うこと。「ええ感じやな」と思った。日本人とフィリピン人の心がつながった。これからも日本でもアメリカでもどこでもこの文化交流を進めたいわ。

4日目

今日は最終日だった。終わりは目の前だけど、この経験のおかげで忘れられない思い出いっぱい作った。特に今日の運動会は楽しかった。何よりも人を助けたかったので本当に嬉しかった。子供と遊んで笑顔を見るのは幸せだ。ちょっとリラックスできて、普通の生活から休憩した。ストレスがだいぶなくなった。外国人だけ全員のメンバーが大歓迎してくれたので、心から感謝している。それもみんなとすぐに仲良くなれたから面白い思い出いっぱい作った。将来にももっとボランティアしたい。その上、歯医者のはすごく面白かったので、歯医者になるかもしれない。日本語もちょっと勉強になったと思う。久しぶりに全力で運動会を頑張った。日本に帰ったらまた一生懸命ダイエットしたい。ちゃんと歯磨きすると男前になるやん。

大阪心齋橋 RC・大阪船場 RC 合同情報集会

平成28年3月14日(月) 於:ホテル日航大阪

規定情報研修委員長 小島常男

3月14日午後6時から、ホテル日航大阪4階孔雀の間で、恒例により大阪心齋橋ロータリークラブとの合同情報集会を開催いたしました。

「奉仕活動この一年」というテーマで両クラブの社会奉仕・国際奉仕・親睦奉仕の各委員長に、親子クラブでありながら互いに知らないことや、新しい活動について紹介し合っていました。

当クラブからは沖社会奉仕委員長がNPO法人「遠野 山里暮らしネットワーク」への3年に亘る支援活動、毎年6企業ほどで継続中の開平小学校の社会学習活動の受入れ、土佐堀YMCA専門学校との交流について、片岡国際奉仕委員長は澤田会長のJDM歯科医療奉仕、バリ島就学困難児童支援、初めての海外交換留学生について、中村親睦奉仕委員長は会員同士で準備し共に楽しむBBQ大会、クリスマス家族会での映像を使った会員家族へのロータリー活動を知ってもらう工夫、来月の都おどり鑑賞の活動報告をされました。



その後、当クラブは岡本会員増強委員長が新入会員を紹介、長沼・上月両会員が自己紹介しました。

以上で合同情報集会を終了し、その後親睦会に移りました。

当クラブ澤田会長挨拶の折、海外交換留学生ジャシュア・シェクター君が達者な日本語で留学生活の感想を述べ、両クラブ会員各位から暖かい拍手をいただきました。

その後、和やかな雰囲気の中、余興として大阪心齋橋RCの岩佐会長エレクトのヴァイオリンに、不肖小島がギターで伴奏させていただきました。

宴たけなわではありませんでしたが、大阪心齋橋RCの早川クラブ研修委員長の挨拶に続き、松谷次年度クラブ奉仕委員長に中締め挨拶をお願いしました。その後も盛り上がった両クラブ会員各位の交流は続きましたので、流れ解散とさせていただきます。

多分に行き届かないところがあったと思いますが、ご出席いただいた会員各位の皆様、ありがとうございました。



♪花は咲く

♪レットイットビー

3月度理事会報告

平成28年3月14日(月) 於:ホテル日航大阪 13:40~14:40

(議案)

- 2月度会計報告
異議なく承認された。
- 規定情報研修について
小島委員長の取りまとめで入会3年未満の会員を中心に研修を実施する。
- 創立30周年準備委員会について
委員会とその委員長・副委員長の人選を行った。
- ジャシュア君の事業所訪問について
会員の任意協力により会員との交流と社会勉強の場を提供する。
- ソウル国際大会「大阪ナイト」の件
11名の参加申し込みを受け付けた。
- その他
ジャシュア君の初級ライラへの参加を準備する。



☆4月例会予定☆

日	地区行事	司会	プログラム	歌	その他
4	母子の健康月間	岩崎	卓話:大嶋会員	「君が代」 「四つのテスト」	お誕生日お祝い 理事会 6階「橋の間」13:40~
11		岩崎	職奉卓話:長沼会員 上月会員	「船場ソング」	30周年準備委員会 6階「橋の間」13:40~
18		岩崎	フリートーク	「我等の生業」	新旧合同協議会31階「カトレア」13:40~
25		岩崎	職奉卓話:甚田会員 林会員	「ロータリー賛歌」	